

平成26年度ホタテガイ採苗通報(第2報)

平成26年4月28日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-23-6880 FAX:0226-24-2561
E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
HP: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
Facebook: https://www.facebook.com/kesuishi
気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
県漁協各支部青年部・研究会

- ・ 小型の浮遊幼生の出現が確認されましたが、まだ採苗袋の投入時期にはなっていません。
- ・ 早すぎる採苗袋の投入は、ノロ(ケイソウ)の付着で袋が汚れますので注意してください。

《調査結果の概要》 調査日:4月28日

- ・ 気仙沼湾口部の岩井崎・大島(大前見)、広田湾側の唐桑只越で浮遊幼生調査を実施し、岩井崎と唐桑只越で小型浮遊幼生が確認されました。
- ・ ムラサキガイ(シウリガイ)幼生が、多数確認されました。
- ・ 母貝の成熟度調査では、生殖腺指数の低下が見られませんでした。
- ・ 4月21日の調査から表層水温が上昇しましたが、水深10m水温は依然として低水温(3.5~5.2℃)です。

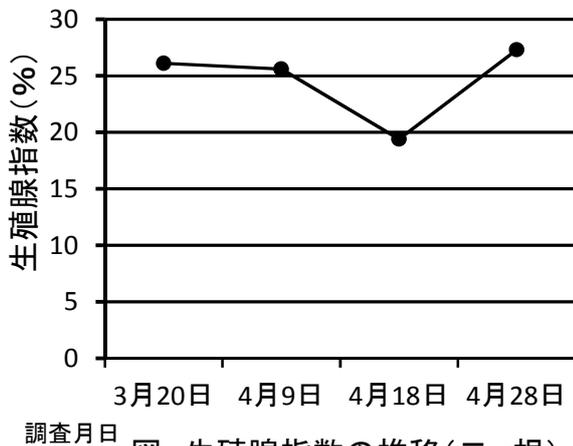


図 生殖腺指数の推移(ニッ根)

表 浮遊幼生調査結果

調査海域 (調査月日)	水温(℃) 表層/10m	ホタテガイ 幼生数 (個体/m ³)	ムラサキガイ 幼生数 (個体/m ³)
岩井崎 4/28	10.5/5.2	2	33
大島大前見 4/28	7.9/3.5	0	33
唐桑只越 4/28	10.1/3.8	5	91

※ホタテガイの浮遊幼生は全て150ミクロン以下の小型でした。

県外情報

- 北海道 ・噴火湾内外で幼生はほとんど出現していない。冬季低水温のため産卵が遅れていると考えられる。
- 青森県 ・陸奥湾では全湾的に幼生の出現数が増加中。西湾では大型幼生も増加しているものの、東湾ではまだ小型幼生が主体。
・採苗器の投入は5月上旬(西湾)~中下旬(東湾)となる見込み。
- 岩手県 ・今期1回目の幼生調査を4/30(水)に実施予定。

次回の通報発行は5月7日の予定です。